

日本海から大山頂上へ——

SEA TO SUMMIT®

KAIKE・DAISEN 2012



か い け だ い せ ん
皆生・大山
5/26^土-27^日

開催場所：鳥取県・大山隠岐国立公園
(モンベル フレンドエリア大山・皆生)



KAYAK 6km



BIKE 23.5km



HIKE 3.5km

主催／皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 （事務局／株式会社モンベル）

後援／環境省、観光庁、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村

オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp>

※「SEA TO SUMMIT / シー トゥー サミット」は株式会社モンベルの登録商標です。



※皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2011の様子

皆生・大山 SEA TO SUMMIT® 2012 大会に寄せて

「皆生・大山SEA TO SUMMIT 2012」に全国各地から御参加いただいた皆様を心から歓迎いたします。

スポーツ環境に優れた鳥取県西部地域を象徴する本大会は、カヤックで日本海にこぎ出し、自転車で悠久の里を走り抜け、登山で秀峰・大山の頂上を目指しながら、自然の魅力・素晴らしさを体感できる世界に二つとない環境型スポーツイベントとして、毎回大きな盛り上がりを見せています。参加者の皆様には、薫風の中、森の木々が一斉に芽吹き新緑を楽しみながら、思い思いのペースでゴールされることを期待しています。そして、山頂に到達し、ふと振り返れば眼下に広がる日本海、自力で進んできた道のりを一望に見渡すことができる、このイベントの醍醐味をぜひ味わってください。

また、当地は、海や山、湖、温泉などの恵まれた自然環境を生かし、本大会を始め、「全日本トライアスロン皆生大会」や「ツール・ド・大山」などのスポーツイベントが盛んな地域です。近年では、サイクリングや登山、キャンプなどのアウトドア・アクティビティを楽しむために当地を訪れる外国人の姿も目立つようになりました。現在、当県では、インバウンドの拡大を視野にスポーツツーリズムの推進を図っているところであり、アジアナンバーワンの「スポーツリゾートの聖地」を目指し、住んでよし、訪れてよしと称されるよう、一層地域の魅力向上を図っていきたいと考えています。

さて、当県は、水木しげる氏(ゲゲゲの鬼太郎)、谷口ジロー氏(遙かな町へ)、青山剛昌氏(名探偵コナン)など多くの著名な漫画家を輩出しています。2012年を「まんが王国とっとり建国イヤー」と位置付け、8月から11月にかけて「国際まんが博」を県内各地で、また、11月には世界の漫画家が大集結する「国際マンガサミット」を米子市内で開催します。ぜひ当県の「世界のまんが文化」を楽しみに、訪れていただければと思います。

終わりに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた大会関係者の皆様に深く感謝を申し上げるとともに、選手の皆様の御健闘と、この大会を通じて多くの人々が出会い、新たな絆が生まれることを期待しています。



大会長

鳥取県知事 平井 伸治

略歴

1984年 東京大学法学部卒業。自治省入省。
選挙部政治資金課課長補佐、税務
局企画課理事官を経て
1999年 鳥取県総務部長
2001年 鳥取県副知事
2007年 鳥取県知事就任(現在2期目)



実行委員長

モンベルグループ代表 辰野 勇
米子・大山観光大使

大いなる伯耆の恵み
山里海に
皆生かされる

皆生・大山シートゥーサミットも回を重ねて第4回大会となりました。これもひとえに参加者と地元実行委員会の皆様方の熱意と努力によるものです。そしてそれを支援くださる地元自治体および団体、さらに協賛企業のご協力の賜物と感謝申し上げます。

昨年の3・11大震災。並々ならない人々の努力とともに、多くの被災地が復興への力強い前進を遂げて来しました。その一方で、いまだに放射線の脅威に生活を奪われた被災者の皆さんの受難の生活が続いていることを思えば、真の復興へのその道のりは遙か彼方、その出口の光明すら見えません。人々を生かし、育み、恵みを与えてきたこのかけがえのない大自然を、守ることの大切さを痛感します。

海・里・山――。

「シートゥーサミット」は人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然のかかわり方のあるべき姿を改めて考える、そんな時間を皆さんと共有したいと思います。そしてその熱いメッセージを被災地に届けたいと願います。

皆生·大山 SEA TO SUMMIT® 2012

綱要催開

主 催 皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会(事務局・株式会社モンベル)

後援 環境省、観光庁、鳥取県、米子市、大山町、日吉津村

協 賛

株式会社モンベル、サントリー食品インターナショナル株式会社、
日本ゴア株式会社、トヨタ自動車株式会社、ウイングキャリア、
日本ヒューレット・パッカード株式会社、ファミリー株式会社、
株式会社ロブテックス、大山ハム株式会社、
大山Gビール(久米桜麦酒株式会社)、株式会社オージーケーカブト、
アリスト販売株式会社、フジ矢株式会社、株式会社キャットアイ、
ウィルダネスシステムズ、ゴールゼロ、キャメルバック、Sun Company、
ジェットボイル、ハイギア、海快晴(株式会社サーフレジェンド)、丸京製菓株式会社、
皆生温泉観光株式会社、財団法人とっとりコンベンションビューロー、株式会社中海テレビ



大会期日 2012年 5月26日 5月27日

会 場 5月26日 皆生海浜公園(雨天決行)

5月27日 日野川河口(スタート)、大山国立公園駐車場(博労座、雨天決行)

海のステージ[カヤック]日野川河口～皆生海浜公園～日野川河口 約6km

里のステージ[自転車]日野川河川敷～大山町総合文化スポーツセンター～博労座 約23.5km

山のステージ[ハイク]博労座～大山頂上(弥山) 約3.5km ※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

定 員 100組(※エントリー受付は終了しております。)

参加費 シングルの部：¥15,000(税込)／チームの部：¥9,000×人数(税込) **環境保全協力金¥500を含む**

参加資格

- 健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(パドル/ライフジャケットを含む)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
- シングルの部:高校生以上の方、チームの部:中学生以上の方
- 大会事務局より大会参加承認を受けた方

※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。※年齢は大会当日を基準とします。

目 程 5月26日(土)

11:00～ 駐車場入庫開始(日野川河口)

11:30~13:30 大会受付(日野川河口)

カヤック、自転車搬入※受付終了者に限る

14:00～ 開会式（皆生海浜公園）

14:20～ 環境シンポジウム(皆生海浜公園)

16:30～ 大会説明

17:00～18:00 カヤック、自転車搬入

※18:00以降の搬入は行っておりません。

18:00以降となる場合は、翌日27日に行ってください。

5月27日 日

6:00～ カヤック、自転車搬入(日野川河口)

6:30～ 参加者集合

7:00～ 大会スタート

12:00～ 大山国立公園駐車場(博労座)

イベント会場オープン

15:30～ 閉会式・表彰式

17:00 参加者集合写真撮影

終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間

カヤックスタートより、
5時間以内に博労座(約29.5km地点)
8時間以内に太山頂上(弥山)



コース全体図

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

5月27日 日

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、是非、参考にしてください。

応援サポーターの方へ

路上駐車・自動車による自転車との並走は周辺住民の方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。

株式会社サーフジェンドのご協力により、イベント専用モバイルサイトがオープンいたします。サイト内では、大会の主要ポイントにおける気象情報について、天気はもちろん、風や波などの情報をわかりやすくご案内します。また、『皆生・大山 SEA TO SUMMIT 2012』に関する最新情報を、このモバイルサイトより随時発信していきます。是非ご活用ください。



海をつたえる、笑顔をつくる。
海決晴
marine weather

仁王堂公園



チェックポイント



エイドステーション



応援ポイント

自転車メンバー
交代可能地点

トイレ



駐車場



大山が正面に見える、
自転車コースいちばんの見所

35°43'96"N 133°50'02"E

大山町総合文化
スポーツセンター

応援目安時間
8:30 - 10:30

35°23'40"N 133°31'43"E

博労座



応援目安時間
9:00 - 11:30

35°22'16"N 133°32'24"E

弥山



応援目安時間
10:00 - 14:30

大山国立公園駐車場(博労座)
/標高約740m
自転車→ハイク

モンベル大山店

ハイク約3.5km

ゴール / 標高 1,709 m
大山頂上 (弥山)

大山

弥山

剣ヶ峰

mont·bell

株式会社モンベル

<http://www.montbell.jp/>

総合アウトドアメーカー。「Function is beauty」と「Light&Fast」をコンセプトに高機能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っております。



ウイングキャリー

<http://wingcarry.com/>

「ウイングキャリー」は動力を使ってカヤックを自動車の屋根に積み込む、カヤックオーナーにお勧めの最新型キャリアです。展示するモンベルオリジナルトヨタランドクルーザーに搭載しております。



大山ハム株式会社

<http://www.daisenham.co.jp/>

2011年ドイツ農業協会主催国際品質競技会7年連続金賞受賞の「カントリーロースト」を中心に、自然の恵みをいっぱい受けたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。



FUJIYA®

フジ矢株式会社

<http://www.fujiya-kk.com/>

東大阪市の電設・配管工具メーカーのフジ矢株式会社です。今年創業89年。100周年に向けてユーザー様に認められる製品づくりをして参ります。これからもFUJIYAブランドを宜しくお願い致します。



キャメルバック

<http://www.camelbak.com/>

20年近くにわたり、ハイドレーションシステム技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界NO.1ブランドとして広く知られています。

海をつたえる、笑顔をつくる。



海快晴(株式会社サーフレンジョ)

<http://pc.umikaisei.jp/>

京都大学防災研究所との共同研究により独自気象解析システムを開発し、企業や個人向けに高精細な情報を提供。また、「マリンウェザー海快晴」により安全で安心した海の環境づくりに貢献しています。



中海テレビ放送

株式会社中海テレビ放送

<http://www.chukai.ne.jp/>

中海テレビ放送は、市民や地域企業・行政・NPO法人と、豊かな地域づくりを目指すケーブルテレビ会社です。

SUNTORY

サントリー食品インターナショナル株式会社

<http://www.suntory.co.jp/>

大山の豊かな自然と澄んだ美しい空気を満喫しながら充実したひと時を過ごされますよう、サントリーも応援しています！



日本ヒューレット・パッカード株式会社

<http://www.hp.com/jp>

日本HPは、SEA TO SUMMITを応援します。環境にやさしいHP Latexインクを搭載した大判プリンターで、大会バナーをプリントするなど、販促物のご提供を通じてイベントをサポートさせていただきます。

大山Gビール

大山Gビール(久米桜麦酒株式会社)

<http://g-beer.jp/>

大山の麓標高300mに位置する当地に、長い年月を経た伏流水が脈々と湧き上がる。この水が「大山Gビール」の源水。名水を生かし、丹念に仕上げられたビールはWBA2011で世界一を受賞しました。



株式会社キャットアイ

<http://www.cateye.co.jp>

自転車用のリフレクターや、走行データ・心拍などを計測するサイクロコンピュータの他、LEDを照明に採用するなど自転車の進化に貢献している開発型製造メーカーです。



Sun Company

<http://www.suncompany.net/>

アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。



丸京製菓株式会社

丸京製菓株式会社

<http://www.marukyo-seika.co.jp/>

このイベントで山陰の自然を満喫してください。海・山・そして美味しい食べ物。山陰は「どらやき」日本一の生産量のまちなのです。どらやき食べて元気いっぱい！



日本ゴア株式会社
<http://www.gore-tex.jp/>

身体を常にドライで快適に保つゴアテックス®プロダクト(製品)は世界中のアウトドア・シーンで、揺るぎない信頼と実績を確立しています。



トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp/landcruiser/>

トヨタ自動車株式会社は、スポーツ活動への協賛を通じて、人類の未来に向けて私達一人ひとりが共に支え合う豊かな社会作りへの貢献を目指しています。



ファミリー株式会社
<http://www.family-chair.co.jp/>

私たちファミリーは、鳥取県大山に工場を持つ今年で50年目を迎えるマッサージチェア専門メーカーです。世界の人々に健康と笑顔を届けるためにこれからも価値ある製品を作り続けていきます。



株式会社ロブテックス
<http://www.lobtex.co.jp/>

地元大山町に工場をもつ、エビ印工具のロブテックスです。日本で初めてモンキレンチを製造し、今年で124年目をむかえます。皆生・大山SEA TO SUMMITを第一回から応援しております。参加者の皆さんの完走と無事を祈っております。



株式会社オージーケーカブト
<http://www.ogkhelmet.com/>

大自然への挑戦! 人力のみで走破していくSEA TO SUMMITは自分自身への挑戦でもあると思います。またチームで参加される方々は仲間と助け合い1人では越えられない所も助け合い完走をめざして頑張ってください。



アリスト販売株式会社
<http://www.arist.co.jp/>

クエン酸サイクルに基づき開発された10年以上の実績を誇る、回復系飲料のロングセラー。1ℓで梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。



ウィルダネスシステムズ
<http://www.wildernesssystems.com/>

アメリカのカヤックブランド。シットオンカヤック、フィッシングカヤック、ツーリングカヤックに至るまで最高の素材を使用し、より良いパフォーマンスを発揮する製品づくりにこだわっています。



ゴールゼロ
<http://www.goalzero.com/>

GOAL ZEROはアウトドアシーンで使える革新的なソーラーパワーシステム製品を提供する米国のメーカーです。



ジェットボイル
<http://www.jetboil.com/>

アメリカで数多くの賞をおさめた、保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった簡単便利なアウトドア用調理器具です。



ハイギア
<http://www.highgear.com/>

高度計、気圧計、コンパスなどを搭載したアウトドア愛好家のための高機能ウォッチを製造するアメリカの企業。



皆生温泉観光株式会社
<http://www.ou-kaike.co.jp/land/kaike.html>

「皆生海浜公園」近くにある温泉施設。さまざまなタイプの温泉コーナーが参加者の疲れを癒してくれます。



財団法人とっとりコンベンションビューロー
<http://www.t-cb.jp/>

ようこそようこそ癒やしと感動のふるさと鳥取県へ。白い砂浜・紺碧の日本海・新緑の大山を全身で感じて、疲れた身体は皆生温泉でリフレッシュ!! 参加者皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

実行委員会

鳥取県、米子市、米子市観光協会、大山町、一般社団法人大山観光局、日吉津村、大山・中海エコツーリズム協議会、皆生温泉旅館組合、皆生レクリエーションカヌー協会、NPO法人 皆生ライフセービングクラブ、NPO法人 大山中海観光推進機構、大山の頂上を保護する会、鳥取県カヌー協会、鳥取県サイクリング協会、鳥取県山岳協会、鳥取県トライアスロン協会、NPO法人 美保湾ヨットクラブ、株式会社モンベル

環境シンポジウム

参加無料

5月26日 土

場所:皆生海浜公園

14:20~15:40 基調講演「森は海の恋人 フォレストヒーローへの道」

畠山重篤(NPO法人 森は海の恋人 理事長)

2012年2月、カキ養殖家・畠山重篤は、国連森林フォーラムより、森林保護に貢献した世界の6人「フォレストヒーローズ」に選出され、ニューヨークの国連本部で表彰を受けた。どうして、海の男が「森林の英雄」に? 森には3つある。山の森・海の森・心の森。それを教えてくれたのはカキだった。巨大津波に襲われた大震災から1年。フォレストヒーローズの道は、東北再生のみならず、日本、そして、地球の再生への道につながっています。



1943年中国上海生まれ。京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授。高校卒業後、牡蠣、帆立の養殖に従事する。家業のかたわら「森は海の恋人」を合言葉に、気仙沼湾に注ぐ大川上流部へ植樹活動が続ける。

15:45~16:30 パネルディスカッション「自然と人のかかわり ~エコツーリズムを考える~」

【パネリスト】内田正洋 (海洋緑化協会キャプテン)・小原 工 (観光庁・スポーツ観光マイスター)・

石村隆男 (「エコツーリズム国際大会 2013 in 鳥取」チーフコーディネーター)

【モデレーター】辰野 勇 (モンベルグループ代表/米子・大山観光大使)



内田正洋

1956年 長崎県大村市生まれ。
1987年から日本のシーカヤック界を牽引してきた。
2009年 海の砂漠化防止を目的とした海洋緑化協会を設立。緑の海、かつての美しい海を取り戻す活動として全国で講演会、シンポジウムを開催している。



小原 工 (おばら たくみ)

1967年 米子市出身。
JTUトライアスロングランプリ最優秀選手賞(1995年~2000年)6年連続
NTTトライアスロンジャパンカップランキング1位(1996~1999)4年連続
2000年 シドニーオリンピック トライアスロン 日本代表。
2010年 観光庁・スポーツ観光マイスター就任



石村隆男 (いしむら たかお)

1957年 米子市生まれ。1997年から大山エリアの観光活性化策(情報発信、体験プログラム開発)に取り組む。
2000年 地域活性化プロジェクト「大山王国」建国。
2007年 大山王国(NPO法人大山中海観光推進機構)理事長就任。
2011年 「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」チーフコーディネーター就任。



辰野 勇

1947年 大阪府堺市生まれ。
1969年 アイガー北壁日本人第二登を果たす。
1975年 株式会社モンベルを設立。
2007年 代表取締役会長就任。
2008年 米子・大山観光大使就任。

16:30~16:50 大会説明

会場案内・アクセス

◎大会受付、 大会スタート地点

【会場】日野川河口

- ・皆生海浜公園から国道431号線を米子IC方面へ、皆生海浜公園より車で10分
- ・JR米子駅からタクシーで20分

◎開会式、 環境シンポジウム

【会場】皆生海浜公園

- ・米子自動車道・米子ICから国道431号線を皆生温泉方面へ約6km
- ・JR米子駅からタクシーで15分、路線バスで約20分

◎閉会式(表彰式)、 販売(地元特産品、飲料)

【会場】大山国立公園駐車場(博労座)

- ・米子自動車道・溝口ICから大山方面へ約10km、米子ICから大山方面へ約13km
- ・JR米子駅からバス路線で約55分



【お問い合わせ】

皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 事務局 (株式会社モンベル広報部内)
TEL/06(6531)5524 FAX/06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2

オフィシャルウェブサイト

<http://www.seatosummit.jp>